

徳島県

埋蔵文化財センター年報

Vol.29 2017年度

2019

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター



加茂宮ノ前遺跡と若杉山遺跡（背後の山中）



徳島城下町跡新南福島1丁目地点の道路遺構

はじめに

本書は、平成 29 年度に公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターが実施した事業の概要をまとめたものです。

本年度も当法人では、徳島県から委託を受け、発掘調査・出土品整理・普及事業などを実施しました。

発掘調査では、国交省の四国横断自動車道（阿南～徳島東）関連の新居見遺跡、同じく国交省の那賀川河川改修事業関連の加茂宮ノ前遺跡、県の街路事業（住吉・万代・園瀬橋線）関連の徳島城下町跡新南福島 1 丁目地点、同じく県の道路改築事業（徳島環状線国府・藍住工区）関連の川原田遺跡、同じく県の床上浸水対策特別緊急事業（和食・土佐地区）関連の小仁宇城跡の 5 遺跡の調査を実施しました。

出土品整理では、川西遺跡・新居見遺跡・中山路遺跡の 3 遺跡の整理作業を行うとともに、いずれも調査報告書の刊行を行いました。このうち川西遺跡は、平成 20・21 年度に発掘調査を実施し、園瀬川の旧河道に面する全国最古級の石積み護岸施設を持つ川港が発見され、全国的に注目された遺跡です。

普及事業では、速報展「2017 発掘とくしま」とその関連行事を実施したほか、企画展示・公開講座・古代体験事業等を数多く実施し、多くの来館者の皆様に徳島の歴史文化に親しんでいただけました。

また、四国地区埋蔵文化財センター巡回展「発掘へんろ展」は、今年度、「四国のハニワ」をテーマとして開催し、好評を博したところです。

当法人による県立埋蔵文化財総合センター（レキシルとくしま）の指定管理については、平成 29 年度末で 4 期目が終了いたしました。そのため、引き続き指定管理の受託に向けて、応募申請を行った結果、県教育委員会から改めて平成 30 年度から向こう 5 年間（従来の 3 年間から変更）の指定管理者として選定されました。

当法人としては、これから多くの県民の皆さんに親しみやすい施設運営に今後とも努力して参りたいと考えていますので、引き続き、関係の皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げる次第です。

公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
理事長 福家清司

目 次

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要	3
I 平成 29 年度 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織	5
II 平成 29 年度 事業概要	6
III 調査事業報告	9
調査事業一覧	10
加茂宮ノ前遺跡	11
新居見遺跡	12
徳島城下町跡新南福島 1 丁目地点	13
川原田遺跡	14
小仁宇城跡	15
IV 整理事業報告	16
V 普及事業報告	
1 管理運営業務	17
2 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務	17
3 いにしえから未来へ！「徳島の歴史文化」発見・発信プロジェクト事業 埋蔵文化財速報展『2017 発掘とくしま』の実施	21
4 その他の普及事業	22

例 言

- 1 本書は公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 29 年度事業をまとめた年報である。
- 2 III調査事業報告に関する地形図は国土地理院発行 1 / 50,000 地形図を転載したものであり、各図に図幅名を記した。
- 3 III調査事業報告、V 普及事業報告の概要是各担当者が執筆し、その責を文末に記した。また、全体の編集については氏家が行った。

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの概要

1 設立の目的

徳島県内における埋蔵文化財（出土した文化財を含む。）の調査・研究に関する事業を行い、文化財保護意識の啓発普及を図り、もって地域文化の振興に寄与することを目的とする。

2 設立年月日

平成元年 4 月 1 日（平成 22 年 4 月 1 日公益財団法人移行）

3 事業内容

- (1) 埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行う事業
- (2) 出土した文化財の整理及び保存を行う事業
- (3) 埋蔵文化財の活用及び保護意識の啓発普及に関する事業
- (4) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営に関する事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4 資産及び会計

- (1) 資産構成 財団設立当初の財産、寄附金品、事業収入、資産収入、その他の収入
- (2) 資産種別 基本財産、運用財産
- (3) 事業年度 每年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
- (4) 基本財産 10,000,000 円
- (5) 決算額 468,388,160 円（平成 29 年度事業収入）

5 評議員

- (1) 評議員 5 名（定数 3 名以上 5 名以内）
- (2) 任期 4 年
- (3) 評議員会
 - ① 権限 ア 評議員、理事及び監事の選任及び解任
イ 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれら附属明細書の承認
ウ 定款の変更等
 - ② 開催 定時評議員会（年 1 回開催）、臨時評議員会

6 役員

- (1) 理事 9 名（定数 3 名以上 10 名以内）
理事のうち 1 名を理事長、1 名を副理事長、1 名を専務理事、1 名を常務理事とする。
- (2) 監事 2 名（定数 2 名以内）
- (3) 任期 2 年
- (4) 理事会
 - ① 権限 ア 法人の業務執行の決定
イ 理事の職務の執行の監督
ウ 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職
 - ② 開催 通常理事会（年 2 回開催）、臨時理事会

7 主たる事務所

(1) 徳島県立埋蔵文化財総合センター内

① 所在地 徳島県板野郡板野町犬伏字平山 86 番 2

② 敷地面積 16,093m²

③ 建物 鉄筋コンクリート造 2 階建（一部鉄骨造）2,554.05m²

事務所、研究員室、展示室、図書資料室、情報処理室、分析室、機材保管室、整理復元室、写真撮影室、木器、鉄器処理室等

8 事務局職員 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

(1) 常勤職員 23 名

内訳 派遣職員等 5 名、財團職員 9 名、嘱託職員 4 名、研究補助員 5 名

(2) 非常勤職員 18 名

内訳 調査補助員 10 名、整理作業員 8 名

I 平成29年度 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの組織

平成29年4月1日現在

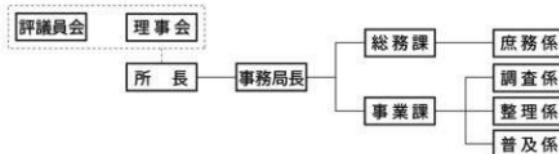
1 評議員・役員

評議員	天羽 利夫 木原 克司 村澤 普恵 仁義 知得 伊丹 康裕	鳥居龍藏を語る会代表 鳴門教育大学名誉教授 徳島大学国際コーディネーター 元県立近代美術館長 元県中央児童相談所長
理事長	福家 清司	所長
副理事長	美馬 持仁	県教育委員会教育長
専務理事	丸居 昭彦	事務局長
理事	真鍋 俊照 両角 芳郎 吉田 一紀 竹原 紀幸 桑原 恵	四国大学教授・大日寺住職 元県立博物館長 元県教育委員会文化財課長 元県教育委員会教育文化政策課長 徳島大学教授
監事	白杵 一浩 原 孝仁 阿部 淳子	県教育委員会教育文化課長 公認会計士 県教育委員会生涯学習課長

2 職員

所長(理事長)	福家 清司	◇事業課
事務局長(専務理事)	丸居 昭彦	課長 藤川 智之
◇総務課		課長補佐 氏家 敏之
課長 藤田 吉則		調査係
庶務係		専門研究員 原 芳伸, 田川 薫
主任主事 上松健一郎		島田 豊彰, 岡田 圭司
事務嘱託員 美間絵梨子		研究補助員 木下理恵子, 曽根 大地
" 山田 里菜		森本 豊誠, 三好 愛美
" 西上 恵里		峯 菜美子
		整理係
		専門研究員 栗林 誠治, 近藤 玲
		普及係
		普及係長 木村 哲也
		専門研究員 大北 和美
		事務嘱託員 大島 美咲

3 組織図



II 平成 29 年度事業概要

1 評議員会・理事会の開催状況について

(1) 第 30 回 書面理事会

開催日 平成 29 年 4 月 1 日（土）
議案 理事の選任について

(2) 第 15 回 書面評議員会

開催日 平成 29 年 4 月 1 日（土）
議案 理事の選任について

(3) 第 31 回 通常理事会

開催日 平成 29 年 5 月 22 日（月）
議案 平成 28 年度事業報告について
平成 28 年度事業取支決算について

(4) 第 16 回 定時評議員会

開催日 平成 29 年 6 月 5 日（月）
議案 平成 28 年度事業報告について
平成 28 年度事業取支決算について

(5) 第 32 回 通常理事会

開催日 平成 30 年 3 月 27 日（火）
議案 平成 29 年度事業計画の変更について
平成 29 年度事業取支予算の補正について
平成 30 年度事業計画について
平成 30 年度事業取支予算について

2 事業の実施状況について

(1) 埋蔵文化財発掘調査業務

県から委託を受けて、次の 5 事業に関連する 5 遺跡、表面積 14,152m²、のべ 32,398 m² の発掘調査業務を行った。

- ① 平成 29 年度那賀川河川改修事業（加茂堤防）に伴う埋蔵文化財発掘調査業務
遺跡名 加茂宮ノ前遺跡 調査面積 表面積 7,812m²（のべ 14,818m²）
- ② 四国横断自動車道（阿南～徳島東）（新居見地区）関連埋蔵文化財発掘調査
遺跡名 新居見遺跡 調査面積 表面積 910m²（のべ 2,280m²）
- ③ 平成 29 年度街路事業（住吉・万代・園瀬橋線）関連埋蔵文化財発掘調査業務
遺跡名 徳島城下町跡新南福島 1 丁目地点 調査面積 表面積 600m²（のべ 1,800m²）

- ④ 平成 29 年度道路改築事業（徳島環状線 国府・藍住工区）埋蔵文化財発掘調査業務
遺跡名 川原田遺跡 調査面積 表面積 3,310m² (のべ 11,980m²)
- ⑤ 平成 29 年度床上浸水特別緊急事業（和食・土佐地区）関連埋蔵文化財発掘調査業務
遺跡名 小仁宇城跡 調査面積 1,520m²

(2) 埋蔵文化財出土品整理業務

県からの委託を受けて、次の 3 事業に関連する 3 遺跡の出土品整理を行い、いずれの事業においても報告書の刊行と発送を行った。

- ① 一般国道 192 号徳島南環状道路（川西地区）関連埋蔵文化財整理業務
遺跡名 川西遺跡 整理箱数 93 箱
- ② 四国横断自動車道（阿南～徳島東）（新居見地区）関連埋蔵文化財整理業務
遺跡名 新居見遺跡 整理箱数 140 箱
- ③ 平成 29 年度美馬道の駅整備事業に係る埋蔵文化財整理業務
遺跡名 中山路遺跡 整理箱数 30 箱

(3) 平成 29 年度徳島県立埋蔵文化財総合センター収蔵庫等管理業務

県立埋蔵文化財総合センターに収蔵されている埋蔵文化財の管理と普及に関する業務を実施した。

(4) 遺物保存処理等業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおける収蔵品等の検索システムの構築、遺物保存処理等の業務を実施した。

(5) いにしえから未来へ！「徳島の歴史文化」発見・発信プロジェクト事業

埋蔵文化財発掘調査の成果を広く還元するために、埋蔵文化財速報展「2017 発掘とくしま」及び関連行事を実施した。

平成 28 年度の事業内容のうち、中山路遺跡（美馬道の駅関連）の出土品に焦点を当て、関連品の展示を行った。また、報告会および講演会、古代体験を実施した。

(6) 徳島県立埋蔵文化財総合センターの管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、適切な管理運営業務を行った。

3 平成 29 年度収支決算

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの平成 29 年度の収支決算等は次のとおりである。

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目	平成 28 年度	平成 29 年度	比較増減額	備 考
1 基本財産運用収入	25,014	1,500	△ 23,514	
2 事 業 収 入	322,266,800	468,388,160	146,121,360	
3 特定資産運用収入	7,076	4,039	△ 3,037	
4 雜 収 入	460,900	603,928	143,028	
5 繰 越 金	3,030,837	3,030,837	0	
合 計	325,790,627	472,028,464	146,237,837	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目	平成 28 年度	平成 29 年度	比較増減額	備 考
1 事 業 費	280,070,295	420,485,607	140,415,312	
2 管 理 費	42,689,495	48,512,020	5,822,525	
合 計	322,759,790	468,997,627	146,237,837	

(3) 平成 29 年度収支差額

収入額合計 472,028,464 円

支出額合計 468,997,627 円

次期繰越額 3,030,837 円

(4) 事業量の推移

年 度	発掘面積 (m ²)	整理コンテナ数 (箱)	総事業費 (円)
平成元	28,480	2,168	156,518,712
2	192,320	—	901,759,018
3	79,169	1,994	373,471,037
4	62,871	1,237	288,440,306
5	17,414	708	411,395,390
6	22,206	572	465,537,840
7	98,707	819	1,806,576,390
8	246,852	1,016	3,073,287,360
9	102,161	1,145	3,471,304,650
10	72,204	2,655	1,746,591,400
11	53,253	2,783	1,879,475,750
12	92,473	2,403	2,231,271,799
13	92,745	2,800	1,907,957,562
14	92,714	2,800	1,772,501,177
15	73,738	2,817	1,517,108,502
16	27,328	2,803	963,345,800
17	24,596	2,800	942,687,000
18	28,150	2,800	855,382,500
19	25,720	2,940	879,415,900
20	21,365	700	467,417,000
21	22,680	480	465,879,000
22	22,504	420	379,320,800
23	28,284	140	402,160,600
24	26,264	280	451,607,000
25	22,403	525	399,380,000
26	11,286	770	326,941,160
27	20,623	700	318,204,400
28	13,887	630	322,759,790
29	32,398	263	468,997,627

III 調査事業報告

県からの委託を受けて次の5事業に関連する5遺跡、表面積14,152m²、のべ32,398m²の発掘調査業務を行った。

調査対象地となったのは、徳島市・小松島市・阿南市・那賀町である。

徳島市では徳島城下町跡新南福島1丁目地点の調査を実施した。いわゆる「内環状道路」に関する埋蔵文化財調査である。徳島城下町の「福島」の南西端にあたる。調査地全体に側溝を伴う道路が検出された。また、道路に面した武家屋敷の築地塀基礎も確認された。調査着手前は市道となっており、近世の街区が同規模で現代に継承されていたことを示す。武家屋敷の調査は一定の蓄積があるが道路の調査事例は希少で、町並みの構造を理解するのに重要な成果となった。

川原田遺跡（徳島市国府町）は徳島環状線関係の埋蔵文化財のうち、今回の調査地点は対象地のなかでは中央付近とやや北寄りの地点である。中央付近は南から広がる水田域と集落域の接点にあたり、集落縁辺部の区画溝などが、北寄りの地点では土壇墓と見られる長方形の土坑が検出された。

新居見遺跡（小松島市新居見町）は、新直轄方式による四国横断自動車に伴う調査で、平成21年度より継続的に行われてきた発掘調査の最終年度に当たる。徳島市方面から南進して、いわゆる「田野山地」に当たる山裾の地点である。隣接地の調査では、縄文時代から室町時代にかけての複数の年代にわたる遺跡が広がり、県下初の縄文時代土偶の出土事例がある。調査ではおもに古墳時代前期以降の遺構・遺物が確認された。性格の明確な遺構は多くはなかったが、青銅製紅皿や八稜鏡など特筆すべき遺物の出土があった。

加茂宮ノ前遺跡（阿南市加茂町）は那賀川の浸水対策に伴うもので、前年度からの継続で調査を実施した。那賀川沿いに伸びる自然堤防上、弥生時代～古墳時代と中世の集落遺跡である。弥生時代～古墳時代にかけて20軒の竪穴住居を検出し、弥生時代中期末のものでは、床面中央に炉と長楕円形の土坑が組み合う「1〇（イチマル）」の配置が見られる。また、水銀朱精製に関わる辰砂・石杵・石臼などが多数出土した。国内唯一の辰砂採掘遺跡である若杉山遺跡は直線距離で5キロと近い位置関係にある。当時国内でも最大規模の生産地であったと考えられる。若杉山遺跡の調査も進行しており、水銀朱精製に関わる操業形態や搬出経路などの解明は重要な課題である。

小仁宇城跡（那賀郡那賀町）は、県が行う那賀川浸水対策事業に伴うもので、那賀町域で初の本格的な発掘調査となった。この地点では、本田昇氏が縄張り図を残していたもののその後の圃場整備により原形が失われていた。発掘調査では堀と陸橋の一部を確認したことにより外周の形が確定し、曲輪の全体像をほぼ把握した。多くの建物が復元され、出土品にも奢侈品が目立った。遺物から見た遺構の年代が14～15世紀であり、伝承による年代とのずれも明らかとなった。（藤川）

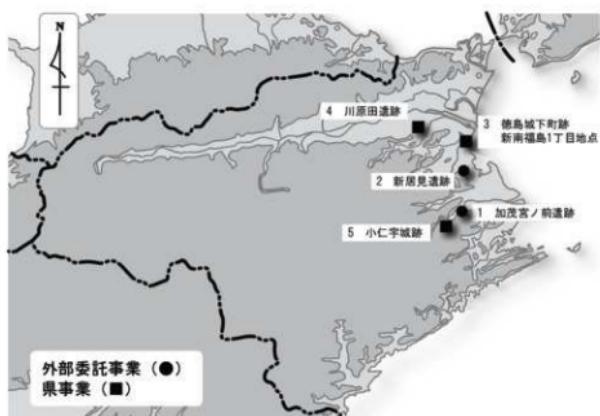
調査事業一覧

外部委託事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
1 加茂宮ノ前遺跡	阿南市加茂町宮ノ前	7,812m ² (表面積) 14,818m ² (のべ面積)	H29.4.1～H30.3.31	縄文時代 ○弥生時代 古墳時代 平安時代 鎌倉時代 ○室町時代	整穴住居・土坑・ 土壙墓・小穴・溝	縄文土器・弥生土器・ 石器・須恵器・土師器・ 陶器・磁器
2 新居見遺跡	小松島市新居見町山路	910m ² (表面積) 2,280m ² (のべ面積)	H29.8.1～H29.12.31	縄文時代 弥生時代 古墳時代 平安時代 鎌倉時代 ○室町時代	溝・土坑・小穴	弥生土器・石器・須恵器・ 土師器・陶器・磁器・ 銅鏡

県事業等関連埋蔵文化財発掘調査業務一覧

遺跡名	所在地	調査面積	調査期間	時代	遺構	遺物
3 徳島城下町跡新南福島1丁目地点	徳島市新南福島1丁目	600m ² (表面積) 1,800m ² (のべ面積)	H29.4.1～H29.7.31	○江戸時代	道路遺構・小穴・ 溝・土坑・屋敷地 築地盤基礎	陶磁器・鉄製品・銅製品
4 川原田遺跡	徳島市国府町川原田	3,310m ² (表面積) 11,980m ² (のべ面積)	H29.8.1～H30.3.31	○室町時代	水田遺構 (畦畔・溝)	土師器・須恵器・陶磁器・銅製品(銭貨)
5 小仁宇城跡	那賀郡那賀町土佐	1,520m ²	H29.4.1～H29.7.31	○鎌倉時代 ○室町時代	庭・掘立柱建物・ 小穴・溝・土坑	土師器・須恵器・陶磁器・銅製品



発掘調査地点位置図

加茂宮ノ前遺跡

所在地 阿南市加茂町宮ノ前

調査期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

担当者 氏家 田川 岡田

木下 森本 峰

調査概要 本遺跡は那賀川の右岸、標高約26mの自然堤防上に立地している。遺跡の南西約5kmには弥生時代末～古墳時代初めの辰砂採掘遺跡である若杉山遺跡がある。また、那賀川の対岸には縄文時代～中世に至る集落遺跡である深瀬遺跡がある。いずれの遺跡も、本遺跡と共通する内容が含まれており、関連が注目される。

遺構と遺物 今回の発掘調査では、弥生時代～古墳時代と鎌倉時代～室町時代の集落跡が確認された。

弥生時代の遺構では、中期後半～古墳時代前期初頭の竪穴住居跡20軒と土坑や溝などの遺構を発見した。中期の住居は、中央の炉と土坑が組み合う「1〇（イチマル）」の形態である。石杵・石臼など水銀朱精製に伴う出土遺物数は、前年度を大きく上回る。ただし、出土位置は住居の内部にあるものは少なく、多くは周辺に廃棄されている。

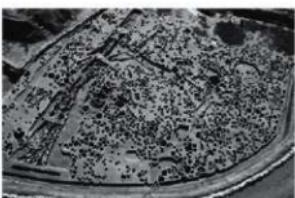
中世の遺構では、土坑・柱穴が非常に多く密集した状況で確認された。柱穴は掘立柱建物を構成するものと見られ、この時期の集落の中心部分と見られる。また、青銅鏡や瓦器を副葬する土壙墓が検出されている。

まとめ 遺跡が立地する自然堤防のうち、中央付近にあたり、多くの遺構が検出される地点での調査となつた。弥生時代の集落は、おもに中期と後期の2つの時期からなり、いずれにおいても住居その他の遺構が見られる。水銀朱精製関連遺物は500点を超え、生産の拠点であることは確実となってきた。ただし、精製工程が判明するものではなく、集落内での工程解明など課題も残つた。

(田川)



1 調査地の位置 (阿波富岡)



2 弥生時代～古墳時代・中世の遺構面完掘状況



3 弥生時代の竪穴住居



4 石杵出土状況

新居見遺跡

所在地 小松島市新居見町山路

調査期間 平成29年8月1日～平成29年12月31日

担当者 烏田 曾根

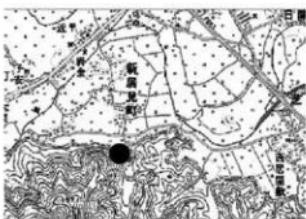
調査概要 本遺跡は、勝浦川南岸の田野山地北麓に位置。勝浦川により形成された沖積地上に立地する。これまでの調査で、縄文時代から室町時代にまたがる多様な遺構や遺物が確認されている。同遺跡の調査は、平成21年度に着手されて以降、断続的に実施してきたが、平成29年度調査をもって完了した。

遺構と遺物 発掘調査では、弥生時代から室町時代にかけての4つの遺構面が確認された。室町時代の遺構では屋敷地の区画溝や水汲み場遺構が検出された。鍍金された青銅製紅皿が出土した。勝瑞城館跡・中庄東遺跡に続く3例目の出土事例である。これまでの調査で、連続する小規模区画による屋敷地の構造が明らかになっている。遺構・遺物の双方により中世屋敷地の性格を決める成果の一つといえる。

古代～鎌倉時代の遺構面では、八稜鏡1点が出土した。県内では、同種の鏡はこれまで阿波國府推定地の觀音寺遺跡で3点出土しているのみである。

古墳時代では5世紀代を中心とする土器が、弥生時代の遺構面ではサヌカイト製石鏟などが出士したが、これらの時期の明確な遺構は伴わなかった。

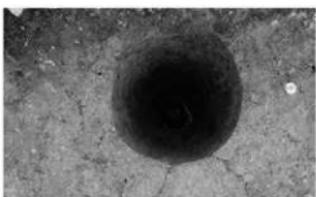
まとめ 新居見遺跡の南東端の調査を実施した。今回の調査成果では、明確な遺構はあまり見られなかつたが、遺跡の性格を考える上で重要な出土品が目立った。今回の調査成果を踏まえ、今後の報告書に反映させていくこととなる。(烏田)



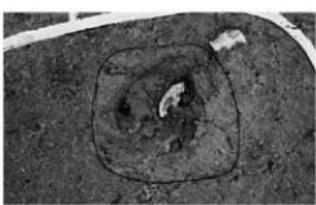
1 調査地の位置（阿波富岡）



2 第1遺構面完掘状況（北から）



3 柱穴内の柱痕残存状況



4 八稜鏡出土状況

徳島城下町跡新南福島1丁目地点

所在地 徳島市新南福島1丁目

調査期間 平成29年4月1日～平成29年7月31日

担当者 原 三好



1 調査地の位置（徳島）



2 道路遺構の路胎の瓦敷



3 道路西側溝の石組み



4 道路東側溝と屋敷地築地塀の基礎

調査概要 発掘調査を行った地点は、近世徳島城下町の「福島」の南西部に位置する。正保3（1646）年などの絵図によると250～350石程度の武家屋敷などが配置されていたことがわかる。平成27年度にも調査を実施し、平成29年度は北側隣接の調査である。徳島城下町跡の多くでは、低湿な地盤を客土の盛り土により町並みへと造成している。「福島」の一角も、調査前で標高1m前後であり、盛り土造成により近世も現代も街づくりが行われている。

遺構と遺物 現況の市道の舗装面を除去すると、全体に焼土などを多く含む戦災瓦礫に覆われていた。瓦礫層の下層において、南北方向に伸びる道路遺構が長さ54mにわたり検出された。幅は側溝の中心間で4.2mを測る。側溝は結晶片岩の割石で構築され、幅は30～40cm、小礫による基礎上に据えられていた。路体は瓦片で作られ、路面は砂質土により固く叩き締められていた。また、東側溝に隣接して、武家屋敷地の堀の基礎とみられる結晶片岩による石組みも確認された。出土遺物から18世紀後半から19世紀とみられる。徳島城下町跡での道路構造のわかる貴重な発見と言える。

まとめ 絵図などに描かれた道路の構造・側溝などの実態が判明した。路体への瓦の利用から年代が推定されたが、絵図にはより古い時期にも道路が描かれている。修築が繰り返されていたとみられるが、痕跡は認められなかった。第2次大戦後にも同位置で市道として継承されていたため、良好な状態で遺存していたことも興味深い。（原）

川原田遺跡

所在地 徳島市国府町川原田

調査期間 平成29年7月1日～平成30年3月31日

担当者 原 島田 三好 曾根

調査概要 本遺跡は鮎喰川が形成する扇状地に位置し、現地盤の標高は約7mである。阿波國府推定地の北方にあたる。平成26年度以降、数次に渡る調査を実施しており、現在の川原田集落に隣接する地点では掘立柱建物と区画溝からなる集落域が、南北に離れた地点では水田域が確認されている。今回の調査地点は集落域を挟んで南北に広がる。

遺構と遺物 南北いずれの地点でも建物跡は確認されず、区画の目的と見られる溝が検出されるにとどまった。これにより集落の範囲が確定した。多くの地点では水田が検出された。水田域の形成は16世紀後半と見られるが、集落北西に位置する溝内からは15世紀代の遺物が出土しているため、周辺地域の開発はさらに遡る可能性が出た。

また、溝の西側からは土壙墓と見られる長方形土坑が連続して検出された。複数の遺構面・水田面で確認されており、墓域として繰り返し利用されていた可能性がある。周辺遺跡の調査においても、集落域の外縁に土壙墓と見られる長方形土坑が整然と構築されている状況が知られており、墓域のあり方についても新しい知見が得られた。

まとめ これまでの調査で集落域と水田域とが確認されていたが、その接点での状況についての情報が得られた。また集落の北西部の区画溝・土壙墓群が検出され、全体像が徐々に判明しつつある。また、15世紀代の出土遺物により集落の初源期が遡る可能性が出てきたことも意義深い。(原・曾根)



1 調査地の位置（石井）



2 G区第2遺構面全景（南から）



3 土壙墓の人骨と副葬品出土状況



4 溝の中での土師質鉢の出土状況

小仁宇城跡

所在地 那賀郡那賀町土佐

調査期間 平成29年4月1日～平成29年7月31日

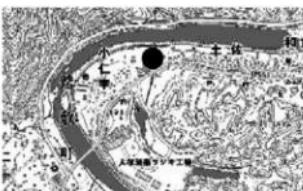
担当者 烏田 曾根

調査概要 小仁宇城跡は、那賀川中流域に位置し、那賀川が大きく蛇行する地点の右岸、標高55mの段丘上に立地している。幕末に記された藩撰地誌である『阿波志』には城主として藤原兼時が記録され、また本田昇氏の縄張り図によって知られる。ただし、近年の圃場整備により、縄張りに描かれた地形などの痕跡は失われ、かろうじて「城の谷川」「城の田」などの地名をとどめる。なお、調査地の東には和食（仁宇）城跡がある。近世には和食城跡が地方支配拠点である阿波九城の一つになるとともに、南西には郷町の町並みがよく残っている。

遺構と遺物 調査対象地となった地区は「城の田」と称される地区である。室町時代を中心とする遺構・遺物が良好な状態で確認された。中心部分には平坦面が形成されており、掘立柱建物14棟などが検出された。また、調査区南西端には堀と土橋も検出され、縄張り図に描かれた構成要素がおよそ判明した。建物群の縁辺にある溝からは全形の判明する土師質土器が一括廃棄されており、宴会での使用状況などが想定される。

出土遺物も豊富で、多岐にわたる。瀬戸焼の盤・花瓶・梅瓶・鉄釉天目碗など、県内での出土が居館や流通拠点に限られるものが目立ち、小仁宇城跡がそうした性格をもつことを示している。

まとめ 伝承や古い記録にある小仁宇城の全体像をほぼ明らかにした。存続年代は14～15世紀が主体で、16世紀には廃絶していたものと見られる。出土品に瀬戸焼花瓶・碁石などの奢侈品が多い点も遺跡の性格を考える上で重要である。（烏田）



1 調査地の位置（阿井）



2 検出された遺構



3 曲輪西南部の堀と土橋



4 溝に廃棄された土器

IV 整理事業報告

徳島県からの委託を受け、次の3事業3遺跡の出土品整理業務を実施した。



中山路遺跡 遺物注記作業



新居見遺跡 復元作業



新居見遺跡 遺物実測作業



川西遺跡 写真編集作業

出土品整理業務一覧

事業名	遺跡名	所在地	整理期間	担当者名	整理概要	備考
一般国道192号徳島南環状道路（川西地区）開通埋蔵文化財整理業務	川西遺跡	徳島市上八万町	H29.5.1～H29.12.31	近藤	観察表入力・トレスス図作成・レイアウト	報告書300部の刊行と発送
四国横断自動車道（阿南～徳島東）（新居見地区）開通埋蔵文化財整理業務	新居見遺跡	小松島市新居見町	H29.7.1～H30.3.31	栗林、近藤	遺物実測・観察表入力・トレスス図作成・写真撮影・レイアウト	報告書300部の刊行と発送
平成29年度美馬道の駅整備事業に係る埋蔵文化財整理業務	中山路遺跡	美馬市美馬町	H29.4.1～H29.6.30	栗林、近藤	トレスス、図版作成、観察表作成、編集レイアウト、遺物写真撮影、原稿執筆等	報告書300部の刊行と発送

V 普及事業報告

平成 29 年度の普及事業は、埋蔵文化財の保護・活用と普及啓発を目的とし、指定管理者としての自主事業を中心に、従来の業務も継承しながら、更なる充実のための創意工夫を加えて実施した。

1 管理運営業務

収蔵庫等管理業務

埋蔵文化財保護の拠点である県立埋蔵文化財総合センターにおいて、県内の埋蔵文化財の保存・活用が一層図されることを目的とし、遺物保存処理、収蔵庫内の資料保管、検索ファイルの作成、図書受納等の業務を行った。

2 徳島県立埋蔵文化財総合センター（対象施設）の管理運営業務

県教育委員会から指定された同センターの指定管理者として、管理運営事業計画に記載した管理運営の基本方針（利用促進、サービス向上、コスト削減、施設の適正な維持管理、地域への貢献・連携、安全管理、環境への配慮）に沿って、適切な管理運営業務を実施した。

(1) 対象施設の利用状況

- ・期間 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- ・来所者数 11,902 名

(2) 自主事業の実施状況

① 埋蔵文化財企画展示

名称	会期	内容	来所者数
レキシルとくしま ミニ企画展示 1	4/8（土）～5/7（日）	『あそび』	874
レキシルとくしま ミニ企画展示 2	5/9（火）～6/18（日）	『自然科学と考古学』	821
レキシルとくしま ミニ展示 3	7/18（火）～8/25（金）	『土器に触ってみよう』	2,178
レキシルとくしま 展示 1	8/27（日）～10/15（日）	『長国の埋蔵文化財 肆「長国の木の文化」』	1,299
レキシルとくしま 企画展示	11/3（金）～12/3（日）	『河内政権と阿波一洪野丸山古墳出現とその前後』	1,097
レキシルとくしま 展示 2	H30/1/12(金)～3/18(日)	第 3 回 四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展 『四国のハニアワ』	2,389

②アワコウコ楽デリバリー

	会場	会期	内容
1	徳島県庁県民サロン	8/1（火）～8/31（木）	2017 発掘とくしま県民サロン

③考古学専門講座

	開催日	内 容	講 師	参加者数
1	5月14日(日)	「遺物の成分分析から何が分かるのか」	氏家敏之(センター職員)	41
2	6月18日(日)	「石器の使用痕から古代の生活を探る」	山田しうう (株式会社加速器分析研究所)	53
3	9月24日(日)	「発掘された鉄器の材質からみた製作技術と実用性について」	鈴木瑞穂 (日鉄住金テクノロジー株式会社)	35
4	11月12日(日)	「石器の使用痕から古代の生活を探る」	中村農 (徳島大学)	30
5	12月3日(日)	「石器の使用痕から古代の生活を探る」	植地岳彦 (徳島県立博物館)	37

④アワコウコ楽連続公開講座

	開催日	内 容	参加者数
1	8月27日(日)	前期①「長国の木の文化」講演会	38
2	11月25日(土)	前期②「河内政権と阿波一渋野丸山古墳出現とその前後」講演会	82
3	2月18日(日)	後期①「四国の埴輪」	81
4	3月4日(日)	後期②「人物埴輪の起源と葬送儀礼」	50



アワコウコ楽デリバリー
組紐体験(県庁県民サロン)



考古学専門講座「長国の埋蔵文化財IV」



続発掘へんろ展「四国のハニワ」



てくてく遺跡めぐり in 板野

⑤ 古代体験学習

・おもしろ古代体験（不定期開催）

月	勾玉	火おこし	铸造			木簡づくり	組紐	草木染め	古代衣装	クイズ	合計
			鏡	銅鐸	錢貨						
4月	12						11			3	26
5月	3						12		1	5	21
6月	9		2	2			12				25
7月			2			2	23				27
8月	12		2	2			4		7	1	28
9月				2			1		7	1	28
10月			1								1
11月	10									4	14
12月			1	1							2
1月	2						10		4		14
2月							8		1	4	13
3月	6						3		2	2	13
合計	54	0	7	8	0	2	84	0	20	19	194

・おもしろ古代体験（関連行事）

日時	内容	参加者数
4月 23日（日）	「ドロメンコづくり」	11
4月 30日（日）～5月 7日（日）	ゴールデンウィーク特別企画「勾玉づくり」	168
5月 28日（日）・6月 11日（日）	「ホタルかごづくり」	53
9月 9日（土）	『長国の埋蔵文化財 肆「長国の木の文化』関連イベント 「木に触れよう！」「お箸を作ろう」	56
11月 26日（日）	「古墳時代の鏡をつくろう」	16
1月 28日（日）	「第1回 てくてく遺跡めぐり in 板野」	35
1月 30日（火）・2月 27日（火）・ 3月 13日（火）	第1回 組紐教室	95
2月 4日（日）	第3回発掘へんろ展関連イベント「弥生時代の琴をつくろう！」	39
合 計		473人

・夏休みおもしろ古代体験

日時	内容	参加者数
7月 23日（日）・25日（火）・26日（水）	「ガラス玉をつくろう」	246
7月 30日（日）	「草木染め」	96
8月 2日（水）・8月 4日（金）・ 29日（火）・30日（水）	「銅鏡・銅鐸をつくろう」	166
8月 8日（火）・9日（水）	「探検！体験！徳島県埋蔵文化財センター」	44
8月 12日（土）～14日（月）	「勾玉をつくろう」	330
8月 16日（水）・17日（木）	「トンボ玉をつくろう」	114
8月 25日（金）	「組紐をつくろう」	55
合 計		1051人

⑥ スケッチコンクール

開催期間：7～8月 参加者：133人

⑦ 古代体験まつり

開催日：平成 29 年 10 月 29 日（日） 参加者：1,213 人

⑧ アワコウコ楽ボランティア倶楽部

万葉の植物を楽しむプロジェクト・・・古の草花研究、植物の育成では「古代ハス」を育てた。
古代ものづくりプロジェクト・・・・草木染めを研究し、イベントを開催した。

遺跡案内人プロジェクト・・・・・・県西の遺跡について研究し、現地ガイドを行った。

・その他センター自主事業において、会場設営や、準備、イベント運営に参加した。それぞれ
が各自主的に参加し、ボランティア活動を行った。

・活動回数：94 回

・参加者数（のべ）：265 人

(3) 徳島県立埋蔵文化財総合センター公式ホームページの管理

・アクセス数：66,618

(4) 団体来所対応

団体 1,855 人

No.	月日	団体名	対象学年	人数	見学	体験
1	4月15日	関東方面愛好家グループ		7	<input type="radio"/>	
2	5月10日	撫養小学校	4年	41	<input type="radio"/>	
3	5月12日	北島南小学校	6年	82	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	5月13日	貞光小学校	4～6年	71	<input type="radio"/>	
5	5月25日	学島小学校	6年	11	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	5月26日	新町小学校	6年	30	<input type="radio"/>	
7	6月2日	板野西小学校	6年	22	<input type="radio"/>	
8	6月9日	デイサービスセンター北島		15	<input type="radio"/>	
9	6月28日	四国大学		7	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	6月29日	木屋平中学校		5		<input type="radio"/>
11	7月2日	板野東小学校	5年・6年	61	<input type="radio"/>	
12	7月3日	鴨島俳句の会		12	<input type="radio"/>	
13	7月8日	富岡東中学校		80		<input type="radio"/>
14	7月9日	北島子供会		30	<input type="radio"/>	
15	7月12日	社会福祉法人 ゆうあい		22	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	7月14日	北灘地区自治振興会		49	<input type="radio"/>	
17	7月17日	名古屋市立大学		9	<input type="radio"/>	
18	7月24日	木頭ふるさと探訪		23	<input type="radio"/>	
19	8月4日	阿波市教育委員会社会教育課		44	<input type="radio"/>	
20	8月23日	鳴門高等学校		4	<input type="radio"/>	
21	8月24日	藍住南小学校		17	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22	8月27日	江南ライオンズクラブ		65	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23	9月16日	川田中小学校	6年	14	<input type="radio"/>	

24	9月 28日	明治大学友の会		24	○	
25	9月 29日	城北高等学校		16		○
26	10月 14日	丸亀城北小学校	6年	62	○	
27	10月 20日	八万小学校	5年	109	○	
28	10月 21日	板野南小学校	6年	38	○	○
29	10月 21日	デイサービスどんぐり		10	○	
30	11月 4日	千松小学校	5年	72	○	
31	11月 11日	高志小学校	6年	23		○
32	11月 12日	鳴門教育大学附属小学校	5年	96	○	
33	11月 18日	あいランド		41	○	○
34	11月 25日	児童発達支援事業所 ねむの木		20	○	○
35	12月 2日	大俣小学校会		20	○	○
36	12月 7日	坂出老人クラブ		30	○	
37	1月 14日	郷土文化講座		59	○	
38	1月 21日	社会福祉法人 ジュニアクラブ 蔵本		9		○
39	1月 31日	サンガリハビリプラザとくしま		8	○	
40	2月 14日	板野郡文化財保護審議会連絡協議会		50	○	○
41	2月 15日	加茂名南小学校	6年	90	○	
42	2月 21日	東みよし町教育委員会生涯教育課		15	○	
43	2月 21日	藍住南小学校		5	○	○
44	2月 24日	福島小学校	6年	85	○	
45	3月 3日	児童発達支援事業所 ねむの木		55	○	○
46	3月 3日	応神小学校	6年	36	○	
47	3月 10日	鳴門教育大学附属小学校	6年	117	○	
48	3月 12日	阿南市ふるさと研究会		27		○
49	3月 21日	デイサービス		17	○	

3 いにしえから未来へ！「徳島の歴史文化」発見・発信プロジェクト事業 埋蔵文化財速報展『2017 発掘とくしま』の実施

平成 28 年度に発掘した遺跡からの主要な出土品を展示し、その調査成果をいち早く県民に紹介するとともに、各種関連行事も実施し、郷土の歴史に対する理解と認識、文化財保護意識の向上に努めた。

- ・実施期間：平成 29 年 6 月 20 日（火）～7 月 16 日（日）
- ・実施場所：レキシルとくしま（徳島県立埋蔵文化財総合センター）
- ・速報展示 徳島城下町跡新南福島 1 丁目地点（徳島市新南福島）
川原田遺跡（徳島市国府町） 中山路遺跡（美馬市美馬町）
加茂宮ノ前遺跡（阿南市加茂町）

・見学者数：645 人

○関連行事

- ・調査成果報告会・講演会：平成 29 年 6 月 25 日（日）

報告 中山路遺跡（原芳伸 専門研究員） 加茂宮ノ前遺跡（田川憲 専門研究員）

講演 「古墳から寺院への転換 一地域首長のモニュメントの変容ー」

講師 藤川智之（事業課長）

参加者数 64人

- ・おもしろ古代体験『錢をつくろう』

実施日：平成29年7月9日（日）

参加者数 27人

4 その他の普及事業

(1) 埋文WEBの管理運営

現地説明会の案内・各種イベント案内・発掘作業員などの募集案内や公益財団法人徳島県埋蔵文化財センターの活動内容全般を掲載した。

- ・アクセス数：10,089

(2) 埋蔵文化財センター年報の刊行

- ・埋蔵文化財センター年報 Vol.28 500部

(3) 各種研修の受け入れ

① 徳島県教育委員会 教職員初任者研修会

県教職員研修課主催の初任者研修の一環として、埋蔵文化財普及業務研修を行った。

- ・期 日：平成29年8月2日（水）～8月4日（金）

- ・研修内容：講義『埋蔵文化財について』『埋蔵文化財センターの業務』

整理業務・収蔵庫の施設見学、常設展・企画展見学、普及活動体験

講義『埋蔵文化財センターの活用方法』

- ・参加者数：3名

② 徳島県教育委員会 社会科研修講座

徳島県立総合教育センターが主催する研修で、社会科担当教員を対象として郷土について学ぶ研修を行った。

- ・期 日：平成29年8月22日（火）

- ・研修内容：講義『埋蔵文化財の普及』、実習『古代体験の教育的意義』

- ・参加者数：19名

③ 職場体験学習

中学生の進路指導の一環として実施した。

- ・期 日：平成29年7月5日（水）～平成29年7月6日（木）

- ・参加者：板野中学校 3名

- ・研修内容：徳島県立埋蔵文化財総合センター内の普及業務体験

④ 高校生インターンシップ

高校生の進路指導の一環として実施した。

- ・期　　日：平成 30 年 1 月 25 日（木）～平成 30 年 1 月 26 日（金）
- ・参 加 者：板野高等学校 2 名
- ・研修内容：徳島県立埋蔵文化財総合センター内の普及業務体験

(4) 職員の対外活動

No.	期日	内容	参加者
1	4 月 1 日～3 月 31 日	藍住町勝瑞城館跡整備検討委員会委員	福家
2	4 月 1 日～3 月 31 日	「鳴門の溝瀬」世界遺産登録学術調査検討委員会委員	福家
3	4 月 1 日～3 月 31 日	あわ文化教育体系化検討委員会副会長	福家
4	4 月 1 日～3 月 31 日	徳島の橋を語る会副会長	福家
5	4 月 1 日～3 月 31 日	公益財団法人徳島銀行生涯学習財団評議員	福家
6	4 月 1 日～3 月 31 日	鳴門市文化財保護審議委員会委員	福家
7	4 月 1 日～3 月 31 日	小松島市文化財保護審議委員会委員	藤川
8	4 月 1 日～3 月 31 日	藍住町文化財保護審議委員会委員	氏家
9	4 月 1 日～3 月 31 日	阿波市文化財保護審議委員会委員	大北
10	4 月 25 日～26 日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」 展示設営と実行委員会への出席 (愛媛県松山市・松山市考古館)	藤川・大北
11	5 月 4 日	阿南市加茂谷鰐まつりへの出展(阿南市)	藤川
12	5 月 22 日	「長国の埋蔵文化財 肆」協議(小松島市)	藤川・木村・大北
13	6 月 3 日	四国大学生涯学習センター 前期公開講座「奈良を旅する」講師(徳島市)	藤川
14	6 月 15 日・16 日	第 36 回全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会への出席 (横浜市)	福家・藤田
15	7 月 8 日	講座「麻植を学ぶ(歴史編)」での講演(吉野川市)	福家
16	7 月 13 日・14 日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」 実行委員会への出席 (高知県南国市・高知県立埋蔵文化財センター)	藤川・大北
17	7 月 27 日	小松島市ふるさと講座講師(小松島市)	藤川
18	7 月 29 日	徳島市立考古資料館での入門講座講師(徳島市・徳島市立考古資料館)	島田
19	8 月 2 日	第 37 期徳島県シルバー大学校講義(阿南市)	福家
20	8 月 22 日	ふる里の歴史を学ぶ会学習会の講師(石井町)	福家
21	8 月 25 日～9 月 15 日	モンゴル国トゥグ県モンダンモリト郡ホスティン・ホラグ遺跡の発掘調査	栗林
22	9 月 13 日	第 37 期徳島県シルバー大学校講義(阿南市)	福家
23	9 月 21 日	第 36 回全国埋蔵文化財法人連絡協議会情報交換会への出席 (東京都)	藤川
24	9 月 27 日	第 37 期徳島県シルバー大学校講義(阿南市)	福家
25	9 月 29 日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」 実行委員会への出席 (香川県坂出市・香川県埋蔵文化財センター)	藤川・大北

26	10月1日	「長国の埋蔵文化財 肆 長国の信仰・中近世」での講師（小松島市）	福家
27	10月15日	「長国の埋蔵文化財 肆 長国の物流史」での講師（牟岐町）	藤川
28	10月5日・6日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会中国・四国・九州ブロック会議（北九州市）	丸居・藤川
29	10月14日	あすたむらんど徳島「サイエンスフェア 2017」への出展（板野町）	藤川・大北
30	10月28日	徳島市立考古資料館での入門講座講師（徳島市・徳島市立考古資料館）	岡田
31	11月16日・17日	第36回全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会への出席（愛知県名古屋市）	藤田
32	11月22日	第37期徳島県シルバー大学校講義（阿南市）	福家
33	11月28日	「長国の埋蔵文化財 肆」協議（小松島市）	藤川・木村・大北
34	12月9日	講座「麻績を学ぶ（歴史編）」での講演（吉野川市）	福家
35	12月16日	松山市考古館での講演（愛媛県松山市）	氏家
36	1月10日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」実行委員会（徳島県立埋蔵文化財総合センター）	藤川・大北
37	2月11日	とくしま「体験の風をおこそう」フォーラムへの出展（徳島市・徳島県立博物館）	大北・大島
38	3月6日	「長国の埋蔵文化財 肆」協議（海陽町）	木村・大北
39	3月18日	県立総合大学校 地域づくり実践講座（にし阿波の歴史）での講演（美馬市美馬町）	藤川
40	3月19日	学校文化財展での講演（阿南市加茂谷中学校）	藤川
41	3月23日	四国地区埋蔵文化財センター巡回展「続・発掘へんろ」実行委員会への出席（徳島県立埋蔵文化財総合センター）	藤川・大北

(5) 発掘調査における普及事業

発掘調査中の遺跡の調査成果を広く県民などに公開した。

- ・遺跡名：小仁宇城跡
- ・日 時：平成29年7月1日
- ・主な内容：文献記録や伝承にみられる小仁宇城跡で発見された遺構と遺物の公開
- ・参 加 者：300名



(6) 考古資料の活用

利用回数 70回 利用点数 4,176点

No	申請内容		資料名等	点数	申請者	利 用 目 的 等
	開始日	終了日				
1	展示		徳島城下町跡出土玩具	72	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	指定管理自主事業 2017ミニ企画展示1に展示
	4月8日	5月7日				
2	複製・撮影・掲載		川端遺跡出土埴輪・写真 大代古墳出土埴輪・写真	7	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示及びパンフレット・ポスター・HPなどの広告媒体へ掲載等に使用
	4月3日	4月24日				
3	貸出		川端 遺跡・大代古墳・菖蒲谷西山A遺跡出土埴輪	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示(松山市考古館)
	4月25日	5月31日				
4	貸出		川端 遺跡・大代古墳・菖蒲谷西山A遺跡出土埴輪	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示(松山市考古館)
	6月1日	7月12日				
5	貸出		川端 遺跡・大代古墳・菖蒲谷西山A遺跡出土埴輪	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示(高知県埋蔵文化財センター)
	7月13日	8月31日				
6	貸出		川端 遺跡・大代古墳・菖蒲谷西山A遺跡出土埴輪	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示(高知県埋蔵文化財センター)
	9月1日	9月27日				
7	貸出		川端遺跡出土・大代古墳・菖蒲谷西山A遺跡出土埴輪	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示(香川県埋蔵文化財センター)
	9月28日	11月30日				
8	貸出		川端 遺跡・大代古墳・菖蒲谷西山A遺跡出土埴輪	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示(香川県埋蔵文化財センター)
	12月1日	1月5日				
9	貸出		川端 遺跡・大代古墳・菖蒲谷西山A遺跡出土埴輪	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示(徳島県埋蔵文化財センター)
	1月6日	2月28日				
10	貸出		川端 遺跡・大代古墳・菖蒲谷西山A遺跡出土埴輪	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示(徳島県埋蔵文化財センター)
	3月1日	3月19日				
11	複製・撮影・掲載		川端 遺跡・大代古墳・菖蒲谷西山A遺跡出土埴輪	3	(公財)徳島県埋蔵文化財センター理事長 福家清司	四国地区埋蔵文化財センター発掘へんろ展『四国のハニワ』での展示及びパンフレット・ポスター・HPなどの広告媒体へ掲載等に使用
	4月3日	4月24日				
12	実見・実測		西山谷出土鉄劍・槍・鐵鏃 矢野遺跡出土鉄鏃	5	大阪大学博士課程ライアンジョセフ	博士論文執筆
	5月18日	5月19日				
13	実見・撮影・実測		矢野遺跡出土土器 南藏本遺跡出土土器	11	北陸学院大学教授 小林正史	古墳時代前期深鍋に付着したススゴケを観察することにより、炊飯や調理方法の復元及び鍋の製作技術を研究
	6月2日	6月3日				
14	転載・放送		矢野遺跡銅鐸出土状況写真	1	ワック株式会社 代表取締役 鈴木隆一	BSフジ ガリレオX「仮」銅鐸のミステリーにおいて銅鐸の説明に使用
	5月7日	5月21日				
15	実見・撮影		觀音寺遺跡出土建築材	1	首都大学東京 山田昌久	原始古代建築構造研究論文作成
	5月9日	5月9日				
16	実見・撮影		荒川遺跡縄文土器 矢野遺跡縄文土器 田井遺跡縄文土器	3	愛媛県埋蔵文化財センター 中野良一	報告書未掲載試料で胎土分析が可能な試料選別事前調査
	5月19日	5月19日				
17	転載		レキシルとくしまHP掲載 高床倉庫写真	1	株式会社統計教育会	中学校学力テストの問題に資料として掲載
	7月1日	刊行予定				
18	実測・拓本		荒川遺跡縄文土器 矢野遺跡縄文土器 田井遺跡縄文土器	3	愛媛県埋蔵文化財センター 中野良一	報告書未掲載試料で胎土分析が可能な試料の実測・拓本
	6月20日	6月20日				

19	実見 7月 27日		般音寺遺跡出土 論語木簡・難波津の歌の木簡	2	ジョシュア・フライドマン	論語木簡等の観察を通して日本の文学史を考察
20	展示 11月 3日		古代古墳・カニ塚古墳・尼塚古墳等・犬山天神山古墳など出土遺物	83	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家清司	指定管理自主事業である 2017企画展に展示
21	閲覧・貸出 6月 14日		恵解山古墳(眉山山麓)関係 恵解山古墳現状写真縹理織文化財関係縦(昭和 34 ~ その 1・その 2)	3	徳島県立博物館 館長 湯浅利彦	恵解山古墳群の発掘調査・遺物保管経緯を調査、博物館研究報告にて掲載
22	貸出・撮影 7月 18日		立江馬淵遺跡出土遺物(円面鏡・木製品)	5	小松島市教育委員会 教育長 吉岡誠	企画展「見る×知る×考える」において展示
23	借用 7月 18日		新居見遺跡出土遺物土偶写真	1	凸版印刷株式会社 文化事業推進本部長	東京国立博物館ミュージアムシアターで上演するコンテンツ中に表示
24	貸出 9月 26日		般音寺遺跡出土木簡・写真	14	香川県立ミュージアム 館長	秋季特別展示「讃岐ひと、時代を動かす -地方豪族が見た古代世界-」に展示
25	実見 8月 8日		田井遺跡・矢野遺跡・稻持遺跡・石井城ノ内遺跡遺物耳飾り類	13	愛媛県歴史博物館 学芸課 兵藤勲	四国地方の櫛文時代の耳飾りに関する研究
26	貸出 7月 25日		稻持遺跡出土遺物(縄文土器・弥生土器・石製品他)	48	東みよし町教育委員会 教育長	(特別展示) 東みよし町の遺跡展「稻持跡跡」に展示
27	掲載(web) 7月 20日から 2年間		竪穴式住居模式図 横穴式石室の模式図	2	株式会社 郡企画代表 表取締役社長 清葉剛久	(株) リクルートが提供するインターネット上の学習情報サービス内の「アクティブラーニング」において公立高校の教師が作成するオリジナル教材として引用し、PDF形式のプリント教材をウェブ掲載
28	貸出 8月 15日		立善寺跡出土遺物(瓦・須恵器・土師器など)	16	阿南市教育委員会教育長	合同企画展「長國の埋蔵文化財肆」に展示
29	実見・拓本 8月 8日		報告書未掲載の貞光前田遺跡 縄文土器	9	愛媛県埋蔵文化財センター 中野良一	報告書未掲載試料で胎土分析が可能な試料の実測・拓本
30	試料提供 許可日		報告書未掲載の貞光前田遺跡・荒川遺跡・田井遺跡・縄文土器	40	東京理科大学理学教授 中井泉	土器胎土を分析し、産地を特定することによって、古代四国における土器流通を解明
31	実見 8月 3日		般音寺遺跡・石井城ノ内遺跡・古町遺跡・中庄東遺跡・宮ノ本遺跡・矢野遺跡などの出土遺物	25	香川県埋蔵文化財センター 所長 増田宏	古代腰帯具の調査
32	貸出・撮影 8月 27日		新蔵町 3丁目 遺跡・中庄東遺跡・寺山遺跡・丈六寺他出土遺物	57	小松島市教育委員会 教育長 吉岡誠	合同企画展「長國の埋蔵文化財肆」に展示
33	実見・実測・撮影 8月 26日		新蔵町 1丁目 遺跡(企業局総合管理センター) 地点同遺跡(企業局総合管理事務所地点Ⅱ)出土土器	31	京都大学文学部 田中恒輝	卒業論文作成に向けての調査
34	貸出・撮影 8月 18日		宮ノ本遺跡Ⅰ・Ⅱ トノ町遺跡 田井遺跡 般音寺遺跡 徳島城下町跡 半岐喜来遺跡他 出土遺物	146	乍岐町教育委員会 教育長 峯野高明	合同企画展「長國の埋蔵文化財肆」に展示
35	展示 8月 27日		般音寺遺跡出土遺物 宮ノ本遺跡出土遺物	72	(公財) 徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家清司	合同企画展「長國の埋蔵文化財肆」に展示

36	出版物掲載 9月3日		観音寺遺跡出土遺物 木簡写真	1	甲州市教育委員会 教育長 保坂仁人	古代史シンポジウム「和歌刻書土器の発見」の中で使用
37	実見・撮影 9月17日	刊行予定 午前中	庄・藏本遺跡出土遺物、南藏本遺跡出土遺物	162	(公財)徳島県埋蔵文化財センター 藤川智之	出土木製品の地域性と加工技術の研究
38	出版物掲載 9月15日	3月31日	矢野遺跡出土遺物写真	94	(公財)徳島県埋蔵文化財センター 氏家敏之	新泉社『遺跡を学ぶ』に執筆掲載
39	実見・撮影 9月19日	9月19日	蓮華谷古墳群出土鉄劍 西山谷古墳群出土鉄劍・鐵鍔他	7	山口県教育庁社会教育文化財課 埋蔵文化財班 岩井顧彦	個人研究
40	実見・撮影 11月20日	11月20日	犬山天神山1号墳・山谷2号墳・萩原1号墓・萩原2号墓・大代古墳・蓮華谷2号墳 銅鏡類	6	島根大学法文学部 准教授 岩本崇	古墳時代倭鏡に関する研究
41	転載 10月1日	3月31日	矢野遺跡出土繩文土器写真	4	徳島県立博物館 館長 湯浅利彦	「新発見考古速報 展示掲出された徳島の歴史」の写真使用
42	掲載 11月中		中庄東遺跡出土遺物(鏡)写真	1	徳島河川国道事務所 工務第一課長 北川誠純	吉野川学識会議の加茂第一堤防埋蔵文化財調査に関する説明に使用
43	掲載 10月中旬~		大代古墳石棺写真 犬山天神山古墳出土状況写真	4	(公財)徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家清司	2017年企画展示「河内政権と阿波・涉野丸山古墳出現とその前後ー」の広報チラシに掲載
44	実見 10月13日	10月13日	南藏本遺跡出土遺物(土器・石器)	31	徳島大学埋蔵文化財調査室 端野晋平	報告書作成のための資料調査
45	掲載 10月25日	11月30日	大松遺跡、町口遺跡、末石・中庄東遺跡 調査状況写真	14	戎光洋出版株式会社 代表取締役 伊藤光洋	図説日本の城郭シリーズ6『戦国三好氏とア波の城郭』に図版として掲載
46	掲載 平成30年1月中旬刊行予定		矢野遺跡・庄遺跡・南藏本遺跡・大柿遺跡・觀音寺遺跡・清成遺跡・延命遺跡の遺物・遺構写真	48	株式会社 新泉社 代表取締役	新泉社発行の『遺跡を学ぶ』に掲載
47	展示 11月3日	12月3日	川端遺跡・大代古墳・力二塚古墳・尼塚古墳・谷口山古墳 犬山天神山古墳・田浦遺跡他 出土遺物	82	(公財)徳島県埋蔵文化財センター 理事長 福家清司	2017企画展示「河内政権と阿波・涉野丸山古墳出現とその前後ー」に展示
48	実見 9月28日	9月29日	矢野遺跡出土遺物	26	徳島県立博物館 館長 湯浅利彦	徳島県立博物館平成29年度部門展示「ここまでわかった!徳島の縄文時代」において展示公開するための資料調査
49	実見 10月19日	10月19日	矢野遺跡・田井遺跡・新居見遺跡出土遺物	70	徳島県立博物館 館長 湯浅利彦	徳島県立博物館平成29年度部門展示「ここまでわかった!徳島の縄文時代」において展示公開するための資料調査
50	実見 10月26日	10月26日	矢野遺跡・深瀬遺跡・石井城ノ内遺跡・宮ノ本遺跡・大柿遺跡・西谷遺跡・庄遺跡・辺露遺跡 出土遺物	85	徳島県立博物館 館長 湯浅利彦	徳島県立博物館平成29年度部門展示「ここまでわかった!徳島の縄文時代」において展示公開するための資料調査
51	実見 11月2日	11月2日	矢野遺跡・田井遺跡・稲持遺跡出土遺物	78	徳島県立博物館 館長 湯浅利彦	徳島県立博物館平成29年度部門展示「ここまでわかった!徳島の縄文時代」において展示公開するための資料調査
52	貸出 11月20日	1月10日	矢野遺跡・稲持遺跡・深瀬遺跡・南藏本遺跡・田井遺跡・石井城ノ内遺跡・宮ノ本遺跡・貞光前田遺跡 他 出土遺物	308	徳島県立博物館 館長 湯浅利彦	徳島県立博物館平成29年度部門展示「ここまでわかった!徳島の縄文時代」において展示

53	貸出		矢野遺跡・植持遺跡・深瀬遺跡・南蔵本遺跡・田井遺跡・石井城ノ内遺跡・宮ノ本遺跡・貞光前田遺跡・他 出土遺物	308	徳島県立博物館 館長 湯浅利彦	徳島県立博物館平成 29 年度部門展示「ここまでわかった！徳島の縄文時代」において展示
54	貸出		矢野遺跡銅鐸出土状況写真	1	国立歴史民俗博物館 久留島 浩	展示室にてパネル展示に使用
55	実見		矢野遺跡 出土遺物 石製品	1	奈良文化財研究所 森本晋	個人研究
56	撮影・実見		名東遺跡（天神地区）出土遺物	173	徳島大学総合科学研究所 中村豊	土器表面の種子圧踏査
57	撮影・実見		日吉谷遺跡出土遺物	118	徳島大学総合科学研究所 中村豊	土器表面の種子圧踏査
58	撮影・実見・拓本		丈六寺出土 板碑	48	徳島市教育委員会社会教育課 西本沙織	個人研究
59	掲載		川西遺跡全景写真	1	文化庁記念物課 小野正敏	文化庁刊行の『水中遺跡の保護のあり方』に掲載
60	閲覧・撮影・試料採取		大谷尻遺跡出土炭化米	10	(公財)徳島県埋蔵文化財センター 堀門研究員 近藤玲	(公財)徳島県埋蔵文化財センター 研究紀要に掲載
61	掲載		指定史跡等保存活用事業埋蔵文化財発掘調査報告書（1）巻頭図版5	1	吉野川市教育委員会 教育長 石川邦彦	冊子「吉野川市の文化財」に掲載
62	閲覧・撮影・実測		浄土寺遺跡・南前川1丁目遺跡・深瀬遺跡 他 出土石製品	65	香川県埋蔵文化財センター 嵐本晋司	四国地域における火打石の研究 徳島県、讃岐産土器の研究
63	掲載		名東遺跡・天神地区・出土 硬質凝灰岩製子持勾玉 写真	2	一山典	玉文化学会発行の「玉文化研究会」に掲載
64	掲載		萩原2号墓出土土器・菅玉・白玉等出土遺物写真 西山谷2号墳出土遺物等写真	6	埼玉県埋蔵文化調査事業団 理事長 塩野孝志	研究紀要第32号に掲載
65	掲載		恵解山古墳（眉山山麓）関係 恵解山古墳現状写真 埋蔵文化財関係縦（昭和34～その1・その2）	4	徳島県立博物館 館長 湯浅利彦	「徳島県立博物館研究報告第28号」において引用
66	借用		4K動画『弥生の精華 矢野銅鐸』	1	日本放送協会徳島放送局長 安原裕人	NHK放送局徳島1Fロビーにて公開
67	借用		古代古墳 出土埴輪	16	鴨門市教育委員会 教育長 安原修	古代古墳一般公開に使用
68	展示		立善寺跡遺跡 出土軒丸瓦写真	2	高知県埋蔵文化財センター 所長 松田直則	移動展「高知市の遺跡」に写真展示
69	掲載		立善寺跡遺跡 出土軒丸瓦写真・図版	4	高知市長 岡崎誠也	「高知市史」編纂において掲載
70	掲載		荒川遺跡・天宮遺跡の出土遺物	1696	高島芳弘	中四国縄文研究会の資料作成
	3月9日	3月9日				

(7) 移動教材セットの貸し出し 2回

No	団体名	人数	貸出日	教材名
1	美馬市教育委員会	183	4月18日	移動教材セット
2	四国大学 青木秀明	13	5月9日	移動教材セット

(8) 出張授業・体験等の実施 13回 (参加者：513名 22時数)

No	種	団体名	人数	実施日	内 容
1	小	川田小学校	13	5月1日	午前 移動教材・PPT・勾玉つくり
2	小	喜来小学校	27	4月25日	午前 火おこし
3	小	松茂小学校	94	4月19日	午前 移動教材・PPT
4	小	川内南小学校	42	4月27日	午前 移動教材・PPT・DVD
5	小	市場小学校	30	5月8日	午後 火おこし・移動教材
6	特支	聴覚支援学校	5	4月20日	午後 移動教材・PPT
7	特支	聴覚支援学校	5	5月11日	午後 火おこし
8	小	藍住南小学校	204	6月9日	午前 移動教材・PPT
9	小	知恵島小学校	20	6月29日	午前 移動教材・勾玉つくり
10	小	福井小学校	14	7月12日	午後 勾玉つくり
11	小	大津西小学校	26	11月7日	午前 勾玉つくり
12	小	種野小学校	3	1月18日	午前 勾玉つくり
13	小	阿南市子供会連合会	30	2月3日	午前 勾玉つくり

徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.29

—平成29（2017）年度—

発行日 平成31(2019)年2月24日

編集・発行 公益財団法人 徳島県埋蔵文化財センター
〒 779-0108 徳島県板野郡板野町大伏字平山86番2
TEL (088) 672-4545

HP <http://www.tokushima-maibun.net>
E-mail awapac@tokushima-maibun.net

印 刷 徳島県教育印刷株式会社